

○Web サイトにオプトアウトする書式

「 化学放射線療法を施行する頭頸部癌患者への緩和ケアチーム介入と栄養状態、有害事象および治療状況の関連についての検討 」

○研究の概要

頭頸部癌における臓器温存を目的とした標準治療として化学放射線療法が選択されています。しかし、施行期間中は化学療法による食思不振、嘔気、免疫低下に加え、放射線療法による嚥下障害、粘膜炎、皮膚炎、味覚変化などをきたしやすく、体重減少および栄養状態の低下が完遂率や生活の質の低下に影響することが報告されています。そのため、栄養管理、口腔ケア、疼痛コントロールなどの支持療法が必要不可欠であり、がん治療におけるトータルペインの管理を専門とする緩和ケアチームがこれらの支持療法を担うことを検討することは極めて重要であります。従って、本研究では、化学放射線療法を施行する頭頸部癌患者への緩和ケアチーム介入と栄養状態の関連性について検討を行います。

○研究の目的と方法

本研究の目的は、化学放射線療法を施行する頭頸部癌患者さんへの緩和ケアチーム介入と栄養状態の関連性について検討することです。化学放射線療法中に診療で得られた臨床データ（臨床所見、検査所見など）を集計し統計解析を行う後方視的研究です。

○本研究の参加について

本研究に参加することで、患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを使わないで欲しいと希望される場合や、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○調査する内容

本研究は、西暦 2014 年 4 月 1 日～西暦 2024 年 3 月 31 日の期間中、国立病院機構熊本医療センター耳鼻咽喉科に入院加療し、化学放射線療法を施行した頭頸部癌患者さん約 50 例を対象としています。診療で得られた臨床データを集計し統計解析を行う研究です。

○実施期間

研究対象期間：西暦 2014 年 4 月 1 日 ～ 西暦 2024 年 3 月 31 日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後 ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日まで

○研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表する時に、個人が特定されることはありません。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 山下晶穂

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 山下晶穂

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 山下晶穂

電話：096-353-6501